

別添2

Q9:カルテを記載する上で困っていること <自由記述>

- ・ソフトウェアの関係上、字数の制限があります。(電カル使用者)
- ・治療だけではなく、美容に関する項目も知りたいです。
- ・手書きカルテのため時間に追われる。
- ・電子カルテの為漢字がないことがある。
- ・電子カルテでも時間がかかる。(紙と電子の併用者)。
- ・時間(電カル使用者)
- ・常用漢字以外は文字化けすること(電カル使用者)
- ・協会を出している物があれば参考にしたい
- ・iPadを使う時、日本語入力に手間取ってしまう。
- ・患者の検査データの記載(情報管理)、経穴の記載(紙カルテ使用者)
- ・書き損じがあると汚くなる(紙カルテ使用者)。
- ・描き忘れ(紙カルテ使用者)。
- ・カルテを記載するのが面倒(紙カルテ使用者)。
- ・日々の臨床における症状変化や治療内容など記載することが多すぎて、毎日が大変です(紙カルテ使用者)。
- ・鍼灸学生時代カルテの書き方など教わった事もなかった。しかしとても重要な物と考えていますので、今回の取り組みはとてもありがたいです。
- ・ナラティブな記載と医療用語に置き換えて簡潔に記載すべき内容をうまく切り分けできていない。SOAP形式に変えようと思っているが、当日の施術内容や施術結果をどこに記載すべきかが良く解らない。複数回施術継続する場合に、定期的に振り返りサマリーをすべきとを感じるが、どういうタイミング・FORMATで行うのが良いのかに悩む。お薬手帳の薬を全てネットで検索して転記しているが、かなり手間がかかる。
- ・紙カルテは保存が大変、電子カルテは時系列での閲覧がしにくい。
- ・スタッフに、よって書き方がちがう。なかなか書式を統一出来ないこと(紙カルテ使用者)。
- ・字が汚いので他の人が読めないことがある。
- ・電子カルテ記載に移行したいが、どの業者の電子カルテが良いのか分からない。
- ・手書きだと遅くなってしまう(紙カルテ使用者)。
- ・カルテ記載は必須です。困っていません。
- ・自院にあった記載フォームを作ることに苦心している。
- ・手書き部分について悪筆のため患者や他の施術者へ見せられない(紙と電子の併用)。
- ・性別に関する記述やそれに相応する聞き取り(電子カルテ使用者)。

- ・紙がどんどん増えて整理が大変(紙カルテ使用者)。
- ・最低限何を記載するべきか。
- ・脈診の記載方法について。
- ・当施術所では複数の鍼灸師が記載するので、施術者によって書き方が異なる。
- ・記載に時間がかかる(電子カルテ使用者)。
- ・紙カルテなので手書きだと手間がかかる。履歴が残らない。研究には用いにくい。
- ・治療のたびに主に記述式で書いているので、チェック式でわかりやすく書ければと思う(紙カルテ使用者)。
- ・東洋医学的用語の文字変換が出しにくい。
- ・鍼灸所見情報を共有できるような用語があればいいと思います。
- ・項目が多くなると時間がかかる(紙カルテ使用者)。
- ・鍼灸師間で患者情報を共有したい場合、何をメインに施術しているか、記述の意図がどこにあるのか共有しにくい。
- ・紙が多い(紙カルテ使用者)。
- ・紙カルテであるため、半年前のカルテを見直すのに時間がかかる。保険を利用していない人は DK システムに入れていない(紙と電子の併用者)。
- ・経穴の漢字がないことに。
- ・以前のものに埋もれてしまい既往歴、現病歴が引継ぎの際に分かりにくい(紙カルテ使用者)。
- ・何も困っていない(紙カルテ使用者)。
- ・他施設と共有されないこと(電子カルテ使用者)。
- ・自分の使いやすいようにオリジナルを作っていますが、問診や検査を取りながら書きたい事だけがでてくる電子カルテを探しています(紙カルテ使用者)。
- ・複数の施術者が関わる場合に記載の統一が難しく、項目を細分化したことにより見にくくなってしまっています(紙と電子の使用者)。
- ・電子カルテ的なところで OneNote を利用しているがやはりテンプレートがほしいと思う(紙と電子の併用者)。
- ・手が疲れる(紙カルテ使用者)。
- ・電子カルテを導入するも、便宜的に紙に書いて、電子に入力しているので手間がかかる。電子カルテは紙ベースでプリントアウト出来ない仕様なので、会社の倒産やウィルス、などのリスクが怖い(紙と電子の使用者)。
- ・施術しながら詳細な問診を行うので、記録漏れが出る(紙カルテ使用者)。
- ・紙から電子への移行は難しいと感じている。
- ・持ち歩き出来れば(紙がボロボロになる)(紙カルテ使用者)。

- ・電子化してほしい。
- ・1人の患者に複数の担当者がある場合、担当者によってカルテの記述に差がある(紙カルテ使用者)。
- ・電子カルテに症状や施術部位の詳細が書き込める画像が欲しい(紙と電子の併用者)。
- ・どこまで書くべきなのか(紙カルテ使用者)。
- ・SOAP等習ったものの、症状が多い方もいてなかなかその通りにはできない。(できるだけ沿うようにはしているが)(紙カルテ使用者)。
- ・個人情報の未記入、電話番号や住所(紙と電子の併用者)。
- ・東洋医学独自の語句を使用する際の表記(鍼灸師以外の医療従事者が閲覧するため)(電子カルテ使用者)。
- ・字が汚く院内で共有するのに不便をかけている。
- ・過去の記述内容を検索するのが面倒(紙カルテ使用者)。
- ・時間がかかる(紙カルテ使用者)。
- ・紙カルテの置き場所が足りない。医師の様な、汎用の電子カルテシステムが欲しい。鍼灸業界は1歩も2歩も、デジタル化に出遅れている(紙カルテ使用者)。
- ・カルテの記載時間が取りにくい(紙カルテ)。
- ・正確な情報の収集(紙カルテ使用者)。
- ・オリジナルのカルテフォーマットをGoogleスプレッドシートで作っている。ツボの名前の漢字が文字変換では出ないので、よく使うツボ名一覧を作り、そこをコピーしている。ツボの文字変換が楽に出来ると助かる。(電子カルテ使用者)
- ・エクセル管理なので既存の電カルと比べて扱いづらい(電子カルテ使用者)。
- ・紙カルテを使用しているため、医師からの紹介で来た患者の情報共有がしにくい(別途、Wordで入力しなおして共有している)。
- ・初診は予診票に身体図があるので、愁訴部や圧痛部位、冷えや乾燥したところなど反応のある所を書き込んで、視覚的に把握できるが、2回目からは、その変化などを文字でしか残せないところ。(紙カルテ使用者)
- ・東洋医学用語の変換に手間がかかる、経穴名を記載するのが大変。対策として自分なりに定型文などを作っている。(電子カルテ使用者)
- ・事細かに記入欄を作らないと、学生の能力によって記入内容の濃さが違う。(紙カルテ使用者)
- ・カルテの枚数が増えて、棚に収まらない。別途保管が必要。(紙カルテ使用者)
- ・入力に手間がかかる(紙と電子の併用者)。
- ・各施術者で書き方が異なること。

- ・複数施術者が所属する施術所となっており、経過での記載で重要内容が埋もれてしまう可能性があるため、特記事項等で共有できるようにしているものの、特記事項に反映されていない場合。
- ・記入の様式があまりルール化されておらず、各人で表現がまちまちなので、正確に共通認識がされていない。(紙カルテ使用者)
- ・電子カルテを用いようか迷うが、データ保存の不安や入力時間がない。
- ・医学用語の漢字が使えないことがある(穴名など)(電子カルテ使用者)
- ・東洋医学的な診断を記述しようとする時、自分の感覚を、どう言語化しようかと悩む。(紙と電子の併用者)
- ・鍼の番手、向きや深さなど、どこまで記載すれば良いか(紙カルテ使用者)。
- ・電子カルテが、まだまだ、不便。
- ・患者の腹や背中や立位の画像や歩行の動画などが取り込めると良いなと思ってます。(紙と電子の併用者)
- ・要件がまとまりにくく、共有時に伝わりきらない(紙カルテ使用者)。
- ・治療後にカルテ記入するので、患者さんが多くなると、記載する時に細かい事を忘れていた時もある(紙カルテ使用者)
- ・使用するのが名前のついた経穴だけではないので、毎回全身のスタンプに印をつけるのが煩わしい。(紙カルテ使用者)
- ・記載に時間が掛かる(特に初診時)(紙カルテ使用者)
- ・東洋医学の専門用語の記載(複雑な漢字)(電子カルテ使用者)
- ・記載時間の短縮化、選んだツボと施術の種類の記事が結局図で記載する方が早い(紙カルテ使用者)。
- ・国などで統一されてないので、医師のカルテと鍼灸師のカルテ統一して欲しいです。(紙と電子の併用者)
- ・カルテを活用した治療が難しい(紙と電子の併用者)。
- ・施術方針の書き方。
- ・使えるフリーのフォーマットが欲しい(紙カルテ使用者)。
- ・図が小さいので、取穴部位が書きにくい(紙カルテ使用者)
- ・自分のことがつかめていない方が意外にも多い。医師からの病気の原因、これらに注意がかなり少ないので患者さんが困っていること。
- ・手書きなので記載するのが面倒臭い。(紙カルテ使用者)
- ・自己満足でなく医療関係者に理解してもらえるように。
- ・治療の合間に紙と電子カルテの入力をするのが大変、特に電子カルテが使いにくい(紙と電子の併用者)

- ・施術部位を示せる詳しい人体図があればよい(紙カルテ使用者)
- ・使用する用語の統一化(紙カルテ使用者)
- ・紙に問診票記載していただき、空き時間に入力しています。面倒な時あり(紙と電子の併用)
- ・記載項目が多すぎる(紙カルテ使用者)
- ・ベッドサイドとデスクを行き来して記入をするため、記入漏れを起こすケースが有る。これは診療が混雑していなくても、しっかり治療を終了してから書き込もうと考えていてうっかり忘れてしまうことがある。出納帳と連動させることで一覧が表示できるので、そこでチェックはできている。(電子カルテ使用者)
- ・カルテは誰でも分かる必要があると思うのですが、鍼治療の場合、Pが文言(経穴名、筋肉名)だけでは分かりづらく思っています。(電子カルテ使用者)
- ・安全性等のカルテの要件を満たした電子カルテシステムが少ない、視覚障がい者に配慮されたカルテシステムがない(紙カルテ使用者)。
- ・慢性的に痛みがある患者様は長期間になるので記載が同じようになる(紙と電子の併用者)。
- ・ツボの漢字が出てこない時がある(紙カルテ使用者)
- ・附属施術所内の教員全体で、カルテ記載方法が統一されていない。(紙カルテ使用者)
- ・カルテ記載に時間がかかる(紙カルテ使用者)
- ・多忙で時間が取れない(紙と電子の併用者)
- ・自分で作っている電子カルテなので、一貫性が乏しい(電子カルテ使用者)。
- ・まだ身に付いているとは言えないところ(紙カルテ使用者)
- ・医師同意書と整合性がないといけない点(電子カルテ使用者)
- ・手書きでカルテを書いた後に、簡単な治療内容をパソコン入力していますが、時間がかかるのが悩みです。(紙と電子の併用者)
- ・鍼灸に特化したカルテがほしい(紙カルテ使用者)
- ・WHO codeがない部位の記載と共有に苦慮することがある。(紙カルテ使用者)
- ・何のためのカルテかはっきり認識していない(紙カルテ使用者)
- ・エクセルによる自作なので特に困っていない(電子カルテ使用者)
- ・長い治療期間の患者の治療経過の保管が大量になることが困っていることでしょうか。(紙カルテ使用者)
- ・人体部位の記載(紙カルテ使用者)
- ・テンプレート(型)の作成(紙と電子の併用者)
- ・使用経穴の記入が面倒な時がある(紙カルテ使用者)
- ・紙カルテだと記載する内容が多すぎてカルテ記載する時間で勤務時間をオーバーしてしまうため患者様の数をこなせない。
- ・治療後特に初診のカルテ記載に時間を要する(紙カルテ使用者)

- ・東洋医学的所見の入力に時間がかかる。前回との比較がパッとみれない。(紙と電子の併用)
- ・電子カルテは鍼灸用のものは機能不十分。カルテ要件を満たすものがない。また、レセプトと連動する場合でも使い勝手が悪い。(紙と電子の併用者)
- ・主訴の多い人の場合たくさん記述しなくてはいけないのが困ります。(紙カルテ使用者)
- ・時間がない(紙カルテ使用者)
- ・特になし。患者さんそれぞれの必要な情報を記載しやすいカルテになっている。(紙カルテ使用者)
- ・時間がかかる(紙カルテ使用者)
- ・忙しくて書ききれしていない(電子カルテ使用者)
- ・刺鍼箇所の表現(紙カルテ使用者)
- ・電子カルテでは病名を入れたら医療用略語も表示してほしい。使いたいけど共通理解がないです。(紙カルテ使用者)
- ・治療担当者によってカルテの記載内容が異なる。治療の評価・治療法・症状の経過の項目は統一する必要がある(紙カルテ使用者)。
- ・あまり細かく、踏み込んだ情報(特に不妊治療の患者さんの場合)問診しづらいことがあるのでカルテ上でどのように表記すればよいかわからない。
- ・紙カルテがかさばって、小さなテナントのスペースを占拠しており、電子化見積もりした所100万円近くかかるため、躊躇。医療機関(医科)で汎用されているような、共通の電子カルテシステムが、鍼灸業界でも運用できないものかと常々、思う。紙に手書きの時間は、非常にコスパが悪い。後で見にくい、場合もある。湿疹や、上腕拳上角・舌状の記載などは、正直、手書きシーマよりも、医療機関のように、電カル直結の、デジカメ撮影の方が楽。(紙カルテ使用者)
- ・特になし、アナログ的な記述がもっとも良いと思う。(紙カルテ使用者)
- ・文章にする時間がかかること。記載事項が多いと限られたスペースに記載することが難しい場合がある。(紙カルテ使用者)
- ・穴位所見・鍼灸処置が明確には表現できない。(紙カルテ使用者)
- ・人体図を使用しているが、私がベストだと思う人体図ではない。(紙カルテ使用者)
- ・SOAPを学校で習っても現場で書く事が少なく、同僚は書けない。客観的所見と評価を混ぜたり、治療内容を書く欄に面倒だからと客観的所見を書くという状況。教育の不足を感じる。(紙カルテ使用者)
- ・記入に時間がかかる(紙カルテ使用者)。
- ・施術時の取穴した経穴名を記載するのが大変(紙と電子の併用者)。
- ・ツボの刺激量を記入できない(電子カルテ使用者)。
- ・散漫になってしまう(電子カルテ使用者)
- ・時間がかかり修正も手間がかかる。(紙カルテ使用者)
- ・治療内容はスペースの制限で1行の範囲で記載。(紙カルテ使用者)